

報道関係各位
プレスリリース

2019年2月18日

人工知能は本当に私たちを幸せにするのか？—『決断』のときを迎えて

「ビッグデータ」や「AI」という言葉を目にし、耳にしない日はありません。自動運転や医療のスマート化など、それらは私たちの生活をより豊かで快適なものにするといわれています。しかし、本当にそうなのでしょうか。中国ではAIを使った「格付け」(スコアリング)が一般化し、スコアな人々への差別が起き始めています。AIによって究極の格差社会が生まれるという指摘もあります。また、日本でも企業による新卒の合否判定や金融機関の融資金額の決定にAIプロファイリングが導入され始めています。個人に関する情報が蓄積されたデータベースの解析により、知らないうちにその人の人物像が特定・評価・判断されるプロファイリング。それには思いもかけない様々なリスクが指摘されています。今回の講演では、AI化によって何が起き、また起きつつあるのかを易しく解説し、自由と平等を重んじる憲法理念に適合したAI社会の実現を模索します。

講師 山本 龍彦 (慶應義塾大学大学院法務研究科 教授)

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGR) 副所長。司法試験考査委員、ワシントン大学ロースクール客員教授などを歴任。主な著書に、『憲法学のゆくえ』(日本評論社、2016年〔共編著〕)、『プライバシーの権利を考える』(信山社出版、2017年)、『おそろしいビッグデータ』(朝日新聞出版、2017年)、『AIと憲法』(日本経済新聞出版社〔編者〕、2018年) などがある。



開催概要

- 日時：2019年3月25日(月) 19:00~20:30 (18:30 開場)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：1,000円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話(03-3502-3340)、来館(1階受付)いずれかにて、
①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341

ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/